

恐怖のなぞが解けるとき 3分後にゾッとするラスト

霊に種類や区別はあるのか？	消失	五分の魂	学校の階段	肩ごし
109	101	93	85	77

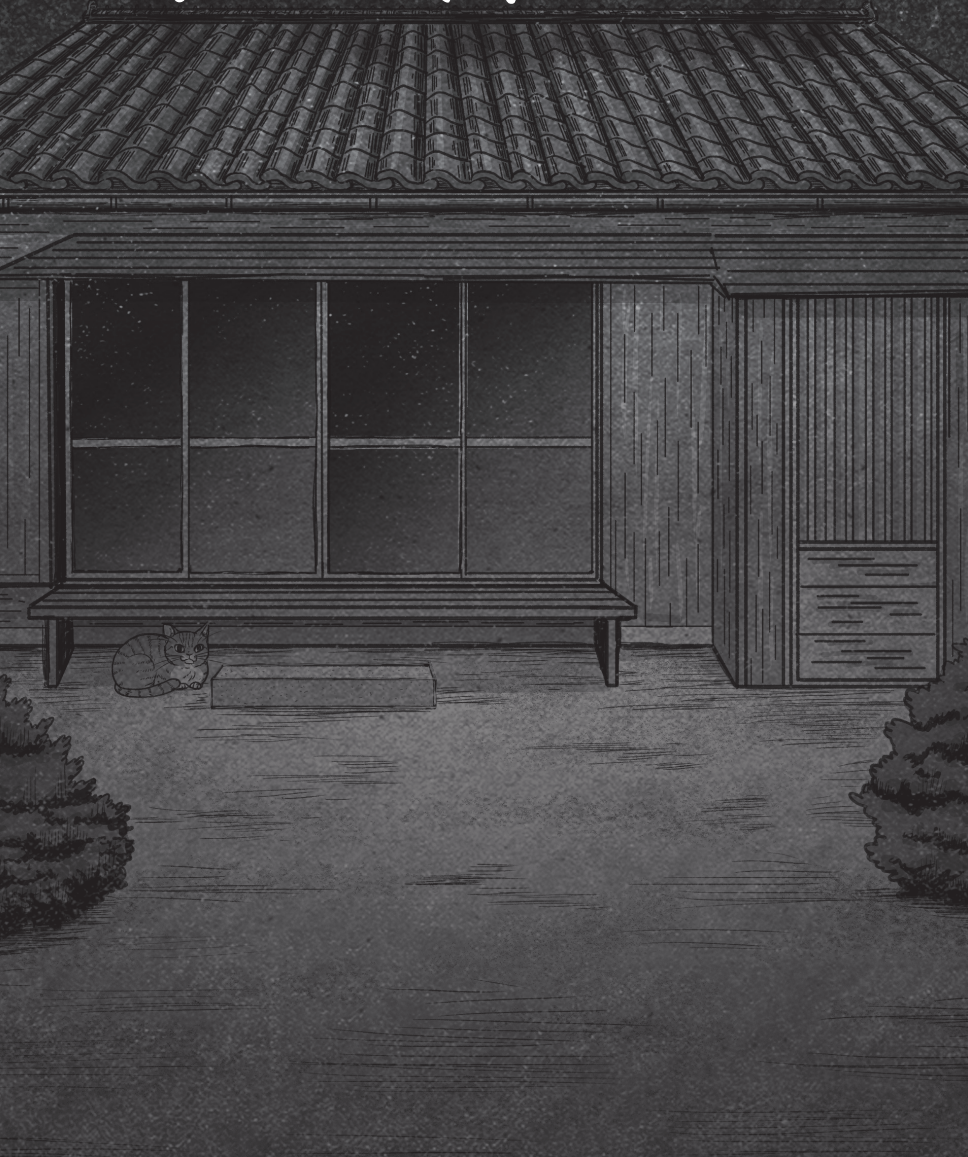
あとがき	付録『神無月』	約束	靴飛ばし	抜け道
143	137	129	121	113

やっと会えたね

霊って、何だろう？	屋敷神	片方だけのサンダル	すれ違い	やっと会えたね
37	29	21	13	5

生物以外にも『霊』はあるのか？	禁忌	旧校舎の記憶	神隠し	黄泉の村
73	65	57	49	41

やっと会えたね



「春休みの間に、部屋を片づけなさい。いつまでも子どもの気分でないで。四月になったら高校生でしょう」

母にそう言われて、ボクはしぶしぶ部屋を片づけはじめた。ばさり

本棚から一冊の本が落ちてきた。

その本は、まるで水に濡れて、そのまま乾かしたようだった。

ゴワゴワして、ページが波打っている。もしかして、雨漏り？

天井には跡はなく、他の本には、変わった様子はない。

ボクは、自分で買った本は全部覚えていたが、この表紙には見覚えがなかった。

『たんぽぽのお酒』

図書館の印が無いから、誰かに借りたのだろうか？

借りたとしたら、友だちからだ。

四月になると、別々の学校になり、会えなくなる友だちも大勢いる。

借りものなら、春休みのうちに返さなくちゃ。

でも、この本の状態はよくない。

新しい本を買って返した方がいいかもしれない。

ボクは、本の裏表紙を開いた。

インシヤルと小さなイラストが描いてあった。

「あっ！これMの本だ」

ボクとMは、中学で二年まで同じクラスだった。

男子と女子だったけれど、二人とも読書好き。

一人っ子で引っ込み思案だったボクは、自分と正反対の性格のMに、憧れていた。

他の女子に聞いた話だと、

Mの家は弟、妹が多く、Mは母親の代わりに家事をやることも多いそうだ。